

いのちの大切さを考える本



「守ろういのち 地震の本」



地震について知り、身の安全を守るために
参考になる本のリストです。
市内5つの図書館で借りられます。

東村山市立図書館

東日本大震災から学ぶ

タンポポ あの日をわすれないで 光丘真理／文 山本省三／絵 文研出版

あの日まいちゃんは、いつもと同じように山の上にある小学校へ行きました。授業を受けていると教室が大きく揺れて、そのあと津波が町をのみこんでいくのが見えました…。(3・4年～)

心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師 ～思い出が動き出す日～

今西乃子／著 浜田一男／写真 金の星社

復元納棺師の仕事は、亡くなった方の遺体を生きていた頃のように復元し、遺族がきちんとお別れが出来るようにすることです。笹原さんは東日本大震災で亡くなった方々をボランティアで復元し続けました。親子で読んで、家族について、命について、話し合ってもらいたい1冊。(5・6年～)

3.11が教えてくれた 防災の本 ①地震 片田敏孝／監修 かもがわ出版

地震にあった時、どのように行動すればよいのか、家族と連絡を取り合うには？ 3月11日の地震を振り返り、いざという時のために、学校や家庭で確認し合うきっかけになる本。(3・4年～)

これまでの地震から学ぶ

ちびまる子ちゃんのあんぜんえほん ④どうしたらいいの？ じしん・かじ

さくらももこ／原作 山中龍宏／監修 金の星社

地震や火事の時はどうしたらよいか、子どもたちに人気のちびまる子ちゃんがやさしく教えてくれます。親子でどうぞ。(幼児～)

あっ！じしん 金子章／文 鈴木まもる／絵 学研

大きな地震がきたらどんなことが起こるのか、いろいろな場面を絵で見せてくれます。自分たちの身の守り方を学べる絵本。(幼児～)

あの日をわすれない はるかひまわり 指田和子／作 鈴木びんこ／絵 PHP研究所

阪神・淡路大震災が起こった時、はるかちゃんは壊れた家の下敷きになり亡くなりました。その跡地に咲いたひまわりを家族や近所の人、はるかちゃんの生まれ変わりと思い大切に育て、多くの人にタネを手渡していきました。(3・4年～)

津波!! 命を救った稲むらの火 小泉八雲／原作 高村徳範／文・絵 汐文社

江戸時代、海辺の村の長者が、津波から村人達を助けるためにとった手段は、人々を高台に呼び寄せるために、大切な稲むらに火を付けることでした。読み聞かせにも向いている絵本。(5・6年～)